

特定非営利活動法人 海洋音響学会

2019 年度総会資料

通常総会・表彰式・懇親会

月 日 2019 年 5 月 30 日 (木)

場 所 東京工業大学 蔵前会館 ロイヤルブルーホール

◇第 16 回通常総会 (通算第 47 回) (13 : 00 ~ 13 : 30)

次第

1. 開会
2. 議長の選任
3. 審議事項
 - 第 1 号議案 2018 年度事業報告及び決算について (資料 1~3, 別紙 1)
 - 第 2 号議案 2019 年度事業計画及び予算について (資料 4~5)
 - 第 3 号議案 2019, 2020 年度役員を選任について (資料 6, 別紙 4)
4. 議事録署名人の選任
5. 会長挨拶
6. 閉会

◇第 43 回表彰式 (13 : 30 ~ 13 : 50)

- ・ 論文賞贈呈 (別紙 2)
- ・ 業績賞贈呈 (別紙 2)
- ・ JAMSTEC 中西賞報告 (別紙 3)

◇懇親会 (17 : 40 ~ 19 : 40)

2018 年度事業報告（案）

1 全般状況

(1) 会員の状況

区 分	2017 年度末	2018 年度末	備 考
名 誉 会 員	16 名	16 名	定期購読者： 4 機関（2018 年度）
終 身 会 員	8 名	8 名	
通 常 会 員	290 名	266 名	
賛 助 会 員	29 社 44 口	27 社 42 口	

(2) 第 15 回通常総会

2018 年 5 月 23 日（水）13:00～13:30

東京海洋大学（品川キャンパス）楽水会館・大会議室において出席者 176 名（内、書面もしくは電磁的方法による表決者 52 名，表決委任者 65 名）にて開催した。

審議事項

議長の選任

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告，収支・監査報告

第 2 号議案 平成 30 年度事業計画及び収支予算について

第 3 号議案 名誉会員の推薦について

第 4 号議案 役員辞任につき改選の件

第 5 号議案 定款の変更について

議事の概要及び議決の結果

議長の選任

司会者より，蜂屋弘之氏の議長選任を諮り，全員異議なくこれを承認した。

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告，収支・監査報告

議長より，平成 29 年度事業報告書案及び平成 29 年度収支・監査報告書を配布し，報告したところ，全員異議なくこれを承認した。

第 2 号議案 平成 30 年度事業計画及び収支予算について

議長より，平成 30 年度事業計画書案及び平成 30 年度収支予算書案を配布し，詳細に審議したところ，全員異議なくこれを承認した。

第 3 号議案 名誉会員の推薦について

議長より，定款第 6 条に基づき海洋音響に関する学問及び技術に関して功績顕著で海洋音響学会の目的達成に多くの貢献のあった飯田浩二氏を名誉会員としたい旨を諮り，審議の結果，全員異議なくこれを承認した。

第 4 号議案 役員辞任につき改選の件

議長より，濱芳典理事辞任に伴い定款第 14 条に基づき理事の改選について諮ったところ，全員異議なく内野雅直氏が理事に選出され，被選出者はその就任を承諾した。

第 5 号議案 定款の変更について

議長より，定款の変更案を配布し，審議したところ，全員異議なくこれを承認した。

(3) 第 42 回表彰式

総会に引き続き東京海洋大学（品川キャンパス）楽水会館・大会議室において開催した。

顕功賞贈呈

以下の者に顕功賞を贈呈した。

受賞者 鎌田 弘志

論文賞贈呈

以下の者に論文賞を贈呈した.

題目 Echolocating bats use future-target information for optimal foraging

受賞者(所属) 藤岡 慧明 (同志社大学)
合原 一究 (同志社大学)
角谷 美和 (同志社大学)
飛龍 志津子 (同志社大学)

掲載誌 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, Vol.113, No.17, pp.4848-4852, 2016

題目 Semi Self-Motion Compensation for a Near-Range Synthetic Aperture Sonar

受賞者(所属) 深見 明久 (東京大学)
浅田 昭 (東京大学)

掲載誌 海洋音響学会誌, Vol.43, No.3, pp.126-133, 2016

業績賞贈呈

以下の者に業績賞を贈呈した.

件名 中周波数広帯域スプリットビーム魚群探知機の開発
(推薦に関わる仕事をした期間:2015年~2017年)

受賞者(所属) 大西 由利子 (古野電気株式会社)
王 勇 (古野電気株式会社)
大西 祐司 (古野電気株式会社)
田中 希未子 (古野電気株式会社)
松村 隆史 (古野電気株式会社)
鈴木 伸雄 (古野電気株式会社)

JAMSTEC中西賞贈呈

以下の者にJAMSTEC中西賞を贈呈した.

件名 ASV-AUV 間水中音響通信の研究

受賞者(所属) 出口 充康 (海洋研究開発機構)
樹田 行弘 (海洋研究開発機構)
目黒 浩二 (海洋研究開発機構)
渡邊 佳孝 (海洋研究開発機構)
志村 拓也 (海洋研究開発機構)
越智 寛 (海洋研究開発機構)

掲載誌 海洋音響学会 2017 年度研究発表会 講演論文集, pp.31-32, 2017

(4) 理事会

年度中 4 回開催し, 会の活動と経理の状況を把握しつつ随時所要の対策を講ずるほか, 総会の決定に従い本会運営の基本に関する事項を審議決定し, 各委員会との連絡を密にして事業の円滑化を図った.

(5) 執行理事会

理事会を補佐し, 本学会の全体運営に関わる業務について効率的かつ十分な審議と迅速な執行を目的とし, 年度中 6 回開催し, 規程類の変更・制定, 総務, 会計に関する審議を行った.

2 事業の概況

事業内容は資料2「事業報告書」による. なお, 詳細は別紙1による.

書式第 1 2 号 (法第 2 8 条関係)

2018 年度 事業報告書 (案)

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業の成果

2018 年度は、特定非営利活動法人として次の事業を行った。

- 第 1. 海洋音響に関する学術調査研究事業として、「全周ソナーの標準データフォーマット研究部会」を開催した。
- 第 2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業として、研究発表会の開催、会誌の発行と、シンポジウム、談話会、講演会、技術講習会を開催したほかホームページを活用し情報の提供を行った。
- 第 3. 海洋音響に関する奨励事業として、前年度の優秀論文賞および顕功賞の表彰をしたほか、本年度の優秀論文、優秀業績の表彰候補選考を行い、JAMSTEC 中西賞の表彰推薦候補選考を行った。
- 第 4. 海洋音響に関する企画交流促進事業として、企画運営委員会を開催したほか、日本海洋工学会等と交流した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
学術調査研究事業	「全周ソナーの標準データフォーマット研究部会」を 3 回開催した。	6 月 1 日 8 月 21 日 11 月 1 日	兵庫県 西宮市 東京都 港区	25 人	海洋音響に関心のある者 約 30 人	156
普及啓蒙事業	会誌 170, 171, 172, 173 号を発行した。	4 月 1 日 7 月 1 日 10 月 1 日 1 月 1 日	法人 事務所	19 人	海洋音響に関心のある者 約 450 人	3,279
普及啓蒙事業	「海洋音響の基礎と応用」を増刷した。	11 月 18 日	東京都 目黒区	20 人	海洋音響に関心のある者 約 250 人	490
普及啓蒙事業	研究発表会を開催した。	5 月 23 日 ～24 日	東京都 港区	20 人	海洋音響に関心のある者 約 250 人	685
普及啓蒙事業	シンポジウムを 2 回開催した。	2 月 18 日 3 月 15 日	東京都 目黒区	10 人	海洋音響に関心のある者 約 40 人	246
普及啓蒙事業	談話会を 2 回開催した。	8 月 3 日 8 月 30 日	東京都 目黒区 東京都 港区	10 人	海洋音響に関心のある者 約 25 人	429
普及啓蒙事業	講演会を 1 回開催した。	6 月 5 日	東京都 港区	5 人	海洋音響に関心のある者 約 30 人	104

普及啓蒙事業	「音響の基礎(全般)」及び「最新技術動向」をテーマに技術講習会を開催した。	12月3日 ～4日	東京都港区	6人	海洋音響に関心のある者 約60人	524
普及啓蒙事業	ホームページ運用を通じて活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供した。	随時	法人事務所	8人	一般市民 不特定多数	224
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰した。 次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催した。	5月23日 (表彰) 11月1日 2月7日 3月29日 (委員会)	東京都目黒区	12人	海洋音響の研究者 約10人	726
企画交流促進事業	企画運営委員会を4回開催すると共に、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行った。	4月20日 8月31日 11月16日 2月7日	東京都目黒区	25人	海洋音響に関心のある者 不特定多数	454

書式第13号（法第28条関係）

2018年度 活動計算書
2018年4月1日から2019年3月31日まで特定非営利活動法人 海洋音響学会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
通常会員受取会費	1,578,000	
賛助会員受取会費	7,560,000	9,138,000
2 事業収益		
(1) 学術調査研究事業収益	0	
(2) 普及啓蒙事業収益	574,935	
(3) 奨励事業収益	0	
(4) 企画交流促進事業収益	0	574,935
3 受取補助金		0
4 受取寄附金		0
5 その他収益		
雑収益	109,152	109,152
経常収益計		9,822,087
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	34,000	
人件費計	34,000	
(2) その他経費		
事務委託費	422,668	
消耗品費	418,496	
通信運搬費	486,958	
旅費交通費	773,788	
印刷製本費	3,220,181	
会議費	1,254,903	
謝金	682,826	
雑費	23,684	
その他経費計	7,283,504	
事業費計		7,317,504
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
事務委託費	2,578,217	
消耗品費	67,156	
通信運搬費	197,980	
旅費交通費	252,370	
印刷製本費	61,913	
会議費	67,438	
雑費	18,834	
その他経費計	3,243,908	
管理費計		3,243,908
経常費用計		10,561,412
当期経常増減額		△ 739,325
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 739,325
法人税、住民税及び事業税		0
前期繰越正味財産額		17,245,173
次期繰越正味財産額		16,505,848

2018年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	10,456,803	
前払費用	33,027	
流動資産合計		10,489,830
2 固定資産		
基本財産	6,536,573	
固定資産合計		6,536,573
資産合計		17,026,403
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	502,555	
前受会費	18,000	
預り金	0	
流動負債合計		520,555
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		520,555
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		17,245,173
当期正味財産増加額		△ 739,325
正味財産合計		16,505,848
(うち基本財産)		(6,536,573)
負債及び正味財産合計		17,026,403

2018年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会
(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
学会手許金	0		
普通預金(みずほ銀行高田馬場支店)	8,370,262		
普通預金(みずほ銀行高田馬場支店・事務局)	160,708		
郵便振替(ゆうちょ銀行高田馬場支店)	1,925,833		
前払費用	33,027		
流動資産合計		10,489,830	
2 固定資産			
基本財産			
定期預金(三菱UFJ信託銀行本店営業部)	6,536,573		
固定資産合計		6,536,573	
資産合計			17,026,403
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	502,555		
前受会費(次年度会費)	18,000		
預り金	0		
流動負債合計		520,555	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			520,555
III 正味財産の部			
繰越正味財産 (うち基本財産)			16,505,848 (6,536,573)

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

2019年 4月 11日

監事 深見 明久 印

監事 後藤 英親 印

平成2018年度正味財産16,505,848円は全額次年度に繰越すこととする。

2018年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

科 目	学術調査研究事業	普及啓蒙事業	奨励事業	企画交流促進事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	9,138,000	9,138,000
2. 事業収益	0	574,935	0	0	574,935	0	574,935
3. 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	0	0	109,152	109,152
経常収益計	0	574,935	0	0	574,935	9,247,152	9,822,087
II 経常費用							
(1) 人件費							
臨時雇賃金	0	31,000	3,000	0	34,000	0	34,000
人件費計	0	31,000	3,000	0	34,000	0	34,000
(2) その他経費							
事務委託費	0	422,668	0	0	422,668	2,578,217	3,000,885
消耗品費	0	4,144	414,352	0	418,496	67,156	485,652
通信運搬費	0	467,718	19,240	0	486,958	197,980	684,938
旅費交通費	120,050	265,158	114,660	273,920	773,788	252,370	1,026,158
印刷製本費	0	3,217,486	2,425	270	3,220,181	61,913	3,282,094
会議費	19,349	894,544	171,539	169,471	1,254,903	67,438	1,322,341
謝金	16,925	665,901	0	0	682,826	0	682,826
雑費	0	12,316	792	10,576	23,684	18,834	42,518
その他経費計	156,324	5,949,935	723,008	454,237	7,283,504	3,243,908	10,527,412
経常費用計	156,324	5,980,935	726,008	454,237	7,317,504	3,243,908	10,561,412
当期経常増減額	△ 156,324	△ 5,406,000	△ 726,008	△ 454,237	△ 6,742,569	6,003,244	△ 739,325

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,536,020	553	0	6,536,573
合 計	6,536,020	553	0	6,536,573

2019年度 事業計画書(案)

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業実施の方針

2019年度は、長期的展望に立って、海洋音響及びこれに関連のある諸科学の一層の振興を図るために、次の方針にしたがって活動する。

- 第1. 海洋音響に関する学術調査研究事業を行う。
- 第2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業を行う。
- 第3. 海洋音響に関する研究開発の奨励事業を行う。
- 第4. 海洋音響に関する企画交流促進事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の金額(千円)
学術調査研究事業	「海中騒音の評価手法研究部会」を開催する。	7月, 10月 1月, 3月	東京都港区	25人	海洋音響に関心のある者 約30人	300
普及啓蒙事業	会誌を定期発行する。	4月, 7月 10月, 1月	法人事務所	20人	海洋音響に関心のある者 約450人	3,300
普及啓蒙事業	水中音響に関する書籍の改定について検討する。	3月	東京都目黒区	20人	海洋音響に関心のある者 約250人	100
普及啓蒙事業	「全周ソナーの標準データフォーマット研究部会」部会報告書を発行する。	7月 12月	東京都港区	25人	海洋音響に関心のある者 約30人	400
普及啓蒙事業	研究発表会を開催する。	5月	東京都目黒区	20人	海洋音響に関心のある者 約250人	900
普及啓蒙事業	国際化を目指し外国人講師を招き講演会を開催する。	6月	東京都目黒区	10人	海洋音響に関心のある者 約50人	200
普及啓蒙事業	シンポジウムを年2回程度, 談話会を年2回程度開催する。	5月, 8月 12月, 2月	東京都目黒区 ほか	10人	海洋音響に関心のある者 延べ約200人	400
普及啓蒙事業	技術講習会を開催する。	12月	東京都目黒区	10人	海洋音響に関心のある者 約50人	200
普及啓蒙事業	ホームページを運用し, 活動内容を紹介し, 海洋音響に関する情報を提供する。	随時	法人事務所	8人	一般市民 不特定多数	300

奨励事業	海洋音響に関する優れた研究並びに開発成果を表彰する。 海洋音響に関する研究の奨励, 優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催する。	表彰:5月 委員会:随時	東京都港区 東京都目黒区	12人	海洋音響の研究者 若干名	400
企画交流促進事業	事業の企画会議の開催並びに, 国際化に関する検討, 日本海洋工学会等関連団体との交流, 行事の共催・後援を行う。	随時	東京都目黒区 東京都千代田区	25人	海洋音響に関心のある者 不特定多数	200

書式第9号（法第10条・第25条関係）

2019年度 活動予算書（案）

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

（単位：円）

科 目	金	額	
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,596,000		
賛助会員受取会費	7,560,000	9,156,000	
2 事業収益			
(1) 学術調査研究事業収益	0		
(2) 普及啓蒙事業収益	654,000		
(3) 奨励事業収益	0		
(4) 企画交流促進事業収益	0	654,000	
3 受取補助金			0
4 受取寄附金			0
5 その他収益			
雑収益	90,000	90,000	
経常収益計			9,900,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	65,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	65,000		
(2) その他経費			
事務委託費	350,000		
消耗品費	153,000		
通信運搬費	607,000		
旅費交通費	975,000		
印刷製本費	2,935,000		
会議費	1,035,000		
謝金	570,000		
雑費	10,000		
その他経費計	6,635,000		
事業費計		6,700,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務委託費	2,600,000		
消耗品費	70,000		
通信運搬費	200,000		
旅費交通費	190,000		
印刷製本費	60,000		
会議費	70,000		
雑費	10,000		
その他経費計	3,200,000		
管理費計		3,200,000	
経常費用計			9,900,000
当期経常増減額			0
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			0
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			16,505,848
次期繰越正味財産額			16,505,848

2019, 2020 年度役員の選任について

1. 2019, 2020 年度理事 (案)

理 事 (20 名)

赤松 友成	澤田 浩一
浅田 昭	澤田 信一
甘糟 和男	土屋 健伸
内野 雅直	南利 光彦
江川 護	蜂屋 弘之
太田 和彦	松本 さゆり
小笠原 英子	向井 徹
小河 慎二	森 和義
越智 寛	吉江 宗生
川崎 良道	渡辺 好章

2. 2019, 2020 年度会長および副会長候補 (選挙結果報告)

会 長	川崎 良道
副会長	澤田 浩一
	渡辺 好章

3. 2019, 2020 年度監事 (案)

監 事	後藤 英親
	深見 明久

2018年度事業内容

○ 研究発表会

(5/23, 24 東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館・大会議室)

特別講演 海洋音響探査
鶴 哲郎 (東京海洋大学)

優秀論文発表賞の贈呈:

ア. 講演の部

題目 音響的手法と光学的手法による噴流流量の観測方法に関する基礎研究
発表者 井原 智則 (東京海洋大学)

題目 水中音響位相共役 MIMO 通信とマルチパス・チャンネル間干渉
発表者 樹田 行弘 (海洋研究開発機構)

イ. ポスターの部 (ベストポスター賞)

題目 音響手法によるフレーム型中層トロール (FMT) の採集効率の測定
～周波数特性の影響～
発表者 呂 振 (北海道大学)

○ 談話会

第1回 (8/3 東京工業大学 蔵前会館 ロイヤルブルーホール)

「Echolocating bats use future-target information for optimal foraging」
藤岡 慧明 (同志社大学)

「Semi Self-Motion Compensation for a Near-Range Synthetic Aperture Sonar」
深見 明久 (東京大学)

「中周波数広帯域スプリットビーム魚群探知機の開発」
大西 由利子 (古野電気)

「ASV-AUV 間水中音響通信の研究」
出口 充康 (海洋研究開発機構)

「UACE2017-4th Underwater Acoustics Conference and Exhibition の研究動向」
樹田 行弘 (海洋研究開発機構)

第2回 (8/30 東京工業大学 キャンパスイノベーションセンター多目的室2)

(電子情報通信学会超音波研究会, 日本音響学会超音波研究会, IEEE UFFC Society Japan Chapter と共催)

主題: 水中音響, 一般

「シミュレーションによる海面での音波反射特性の検討」
津久井 智也・澤田 信一 (IHI),
平田 慎之介・蜂屋 弘之 (東京工業大学)

「海底砂のねじれ率, 透水係数および間隙半径の予測」
木村 正雄 (多孔体音響研)

「一体型非接触超音波肉厚計測装置の改良」
佐藤 智夫 (港湾空港技研), 虻川 和紀 (木更津高専),
小林 明広 (マイクロデザイン),
田中 敏成・白井 一洋・松本 さゆり (港湾空港技研)

「CCD カメラを用いた葉の固有振動解析による植物の水ストレス状態の推定」
佐野 元昭・内川 千春・大平 武征・中川 裕・
白川 貴志・杉本 恒美 (桐陰横浜大学)

「単一マイクロフォンで観測された鳴音に基づくマッコウクジラの体長推定

～相模湾初島沖深海底アーカイブ音響データの解析～

岩瀬 良一 (海洋研究開発機構)

「ソウハチの音響散乱特性に関する研究

～Ⅰ. 計量魚群探知機によるソウハチ魚群の特徴～

向井 徹・閻 乃箏・山本 潤・長谷川 浩平 (北海道大学)

「ソウハチの音響散乱特性に関する研究

～Ⅱ. 広帯域音響システムによるソウハチのターゲットストレングスの精密測定～

閻 乃箏・向井 徹・山本 潤・工藤 尚之・長谷川 浩平 (北海道大学)

招待講演:

「水産音響研究を振り返って」

飯田 浩二 (北海道大学)

○ シンポジウム

第1回 (2/18 東京工業大学 蔵前会館 ロイヤルブルーホール)

2018年度水中防衛技術学会 (UDT) 等報告

「UDT Europe 2018 総括報告・センサ及び処理」

川崎 良道 (沖電気工業)

「UUV等」

南利 光彦 (日立製作所)

「シグネチャ等」

長倉 博 (三菱重工)

第2回 (3/15 防衛装備庁 艦艇装備研究所 大会議室)

「防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度について」

鈴木 茂 (防衛装備庁)

「光電子増倍管を用いた適応型水中光無線通信の研究」

澤 隆雄 (海洋研究開発機構)

「給電可能エリアの広い海中移動体向け無線給電技術の開発」

小柳 芳雄 (パナソニック)

「岩国海洋環境評価サテライト (仮称) の紹介」

奥山 智尚 (艦艇装備研究所)

○ 講演会

外国人講師による講演会

(6/5 東京工業大学 キャンパスイノベーションセンター 多目的室1)

「Acoustics in fisheries research: evolving technology and new opportunities to solve old problems」

Kenneth G. Foote (Senior Scientist, Applied Ocean Physics & Engineering, Woods Hole Oceanographic Institution)

○ 技術講習会

第28回講習会

(12/3,4 東京工業大学 キャンパスイノベーションセンター 国際会議室)

主題: 海洋音響の基礎と最新技術動向

テキスト: 「海洋音響の基礎と応用」及び技術資料

「音響の基礎」

蜂屋 弘之 (東京工業大学)

「送受波器」「反射・散乱と残響」「信号の検出と処理」「水中音響計測」

鎌田 弘志 (元会長)

「ソナーの最新技術」

浅田 昭 (東京大学)

「最近の水産音響と技術動向」

古澤 昌彦 (東京海洋大学)

「船舶騒音の計測と影響評価方法」

赤松 友成 (中央水産研究所)

○ 部 会

全周ソナーの標準データフォーマット研究部会

第7回 (6/1 新西宮ヨットハーバー 第1会議室)

話題提供

「Acoustic measurement of fish density and size:the role of the standard-target method for calibrating active sonars」

Kenneth G. Foote (ウッズホール海洋研究所)

「Effects of noise and absorption on high frequency measurements of acoustic-backscatter from fish」

古澤 昌彦 (東京海洋大学)

「Dreams and adventures of a radio boy, -Personal history on fisheries acoustics for four decades-」

飯田 浩二 (北海道大学)

第8回 (8/21 東京海洋大学 品川キャンパス)

話題提供

「マルチビームソナーを用いた海底地形計測と水産資源量調査への応用」

前田 文孝 (東陽テクニカ)

「マルチビームソナーの校正と魚群計測」

松裏 知彦 (水産工学研究所)

「全周ソナーの標準データフォーマット研究部会のとりまとめに向けて」

澤田 浩一 (水産工学研究所)

第9回 (11/1 東京海洋大学 品川キャンパス)

話題提供

「平板状音響リフレクター」

澤 隆雄 (海洋研究開発機構)

「全周ソナーの標準データフォーマット研究部会の目次案について」

澤田 浩一 (水産工学研究所)

○ 日本海洋工学会

総会

2回 (通期第21回 12/14, 第22回 2019/3/28)

理事会

2回 (通期第37回 12/14, 第38回 2019/3/28)

運営委員会

4回 (第179回 6/6, 第180回 9/19, 第181回 12/14, 第182回 2019/3/28)

特別海洋工学パネル

1回 (2019/3/11 JAMSTEC 中西賞受賞記念講演会)

海洋工学シンポジウム

1回 (第27回 8/7~8)

○ 委員会

企画運営委員会 4回 (4/20, 8/31, 11/16, 2/7, 東京工業大学)

表彰委員会 3回 (11/1, 2/7, 3/29, 東京工業大学)

編集委員会 8回 (4/13, 6/6, 9/21, 10/18, 12/5, 1/16, 3/13 東京海洋大学, 7/12 東京工業大学)

2019 年度表彰一覧表

○論文賞

- ・ 題目 Development of the Parametric Sub-Bottom Profiler for Autonomous Underwater Vehicles and the Application of Continuous Wavelet Transform for Sediment Layer Detections
- ・ 受賞者 (所属 (当時))

水野 勝紀	(東京大学)
浅田 昭	(東京大学)
片瀬 冬樹	(東京大学)
永橋 賢司	(東京大学)
原口 強	(大阪市立大学)
- ・ 掲載誌 海洋音響学会誌, Vol43, No. 4, pp. 233-248, 2016

○業績賞

- ・ 件名 高解像度音響映像取得装置
(推薦に関わる仕事をした期間: 2016年~2018年)
- ・ 担当者 (所属 (当時))

松本 さゆり	(港湾空港技術研究所)
片倉 景義	(港湾空港技術研究所)
佐藤 智夫	(港湾空港技術研究所)
吉江 宗生	(港湾空港技術研究所)

○JAMSTEC 中西賞

(日本海洋工学会 特別海洋工学パネルにて贈呈済)

- ・ 題目 水中音響位相共役 MIMO 通信とマルチパス・チャンネル間干渉
- ・ 受賞者 (所属 (当時))

樹田 行弘	(海洋研究開発機構)
出口 充康	(海洋研究開発機構)
志村 拓也	(海洋研究開発機構)
- ・ 掲載誌 海洋音響学会 2018 年度研究発表会講演論文集, pp. 61-62, May 2018

2019, 2020 年度の評議員

1. 通常会員の評議員 (49 名) (選挙結果報告)

赤松 友成	西條 猷児	深見 明久
浅田 昭	佐藤 隆一	藤本 治
甘糟 和男	澤 隆雄	松本 さゆり
石前 浩蔵	澤田 浩一	水谷 孝一
今泉 智人	志村 拓也	水野 勝紀
梅津 功	高尾 芳三	宮本 佳則
江川 護	田中 正吉	向井 徹
海老原 格	土屋 隆生	村上 泰
太田 和彦	土屋 健伸	森 和義
小笠原 英子	土屋 利雄	森下 到
奥山 智尚	陶 良	屋内 伸治
尾崎 俊二	長澤 修宏	矢吹 哲一朗
越智 寛	中村 義行	山口 功
加藤 健太郎	西森 靖	横田 裕輔
川崎 良道	野村 英之	渡辺 好章
倉本 和興	蜂屋 弘之	
後藤 英親	飛龍 志津子	

2. 賛助会員の評議員 (27 名) (本会に対する代表者)

(株) I H I	澤田 信一
(株) アクアサウンド	笹倉 豊喜
(株) エス・イー・エイ	田中 照喜
NEC ネットワーク・センサ(株)	加藤木 和夫
(株) オキシテック	竹越 哲郎
沖電気工業(株)	高嶋 昭一
海洋電子工業(株)	加嶋 孔
川崎重工業(株)	横山 真也
(株) KDD I 総合研究所	小島 淳一
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所	
港湾空港技術研究所	吉江 宗生
三波工業(株)	山川 忠明
ジェイ・アール・シー特機(株)	片山 峰宏
JMU ディフェンスシステムズ(株)	飯田 隆
静岡沖電気(株)	日高 勇二
ジャパン マリンユナイテッド(株)	小堤 英貴
(株) ソニック	伊藤 宏
(株) 東陽テクニカ	藤島 俊一
日本アビオニクス(株)	加幡 勝良
日本電気(株)	内野 雅直
日本電気航空宇宙システム(株)	清水 忍
日本無線(株)	堀野 直己

(株)日立製作所
古野電気(株)
三井E&S造船(株)
三菱重工業(株)
三菱プレシジョン(株)
横浜ゴム(株)

南利 光彦
小河 慎二
吉野 亥三郎
生田 顕弘
布田 浩二
三上 洋史